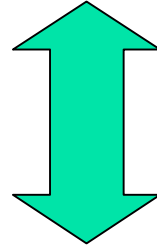


図書館の存在感を示せ！
～ 講習会の浸透を図るために～

リテラシー講習会の現状

- 図書館主催のリテラシー講習会 参加者少ない



- 授業内のリテラシー講習会 一定の参加者確保



広報の現状

- ポスター・ちらし 関心を引けていない？
- HP 誰も見ない。(見るのは、コアな利用者のみ)
- カウンターでの利用者の個別勧誘
- 教員への募集 ある程度、効果あり



背景

- 図書館の存在感が薄い？



解決への方向性

- 教員との連携
- 事務部署との連携
- PRの手段としての利用統計
- カリキュラムに組み込む



教員との連携を深めるには？

- 館長の役割・・・リーダーシップ
 - 教員への働きかけ(教授会)
 - 事務部署との交渉 (予算・人事 等)
 - 学内全体へのアピール
- 理解者となる教員・・・サポーター
 - 教員への働きかけ



将来への展望

- 図書館を使いこなしてほしい
- 図書館員が専門性を発揮する場として
情報リテラシー教育を活発にする
- 手段として、学生全員がリテラシー講習会
を受講するような状況をつくる